

COOP-JOSO News Letter

2020年7月2回号 発行/常総生協広報G

2020年度活動テーマ案「JOSO食材でかんたん・おうちゴハン～食卓から笑顔あふれる未来へ～」

こういう時こそつながり、たすけあいの気持ちを届けましょう！募金協力のお願い！

○「NPO法人いわき放射能市民検査測定室たらちね」より募金協力のお願い！

・NPO法人いわき放射能市民測定室たらちねとは・・・

2011年3月11日の福島第一原子力発電所の事故による被ばくの被害から子どもたちと地域の人々の健康と暮らしを守るために、日本初の地域住民による放射能検査（ホール・ボディー・カウンター、セシウム、ストロンチウム）、健康調査を行う市民測定室を設立されました。見えない・おわない・感じない放射能による環境汚染と長期的に向き合い、これから先の遠い未来を見据えた活動を行なっています。

常総生協も海洋汚染を測るストロンチウムを検査するラボを開発するときにプロジェクトに参加させて頂いた経緯があります。また、関東子ども健康調査支援基金の立ち上げの際も「たらちね」のノウハウを教えてもらい、協力を頂きました。



▲こどもドックで血液検査を受けるお子さん

今、「たらちねクリニック」は放射能に続く脅威である新型コロナウイルスへの対策を急いでいます。

どうか、子どもたちを新型コロナウイルスの脅威から守るために緊急募金にご協力ください。

福島にも迫る新型コロナウイルス たらちねクリニックは放射能に続く脅威への対策を急ぐ

日本初の放射能測定室併設型クリニックでは「こどもドック」と呼ばれる子どもたちのための人間ドックを無料で提供しています。検査項目は、被ばくの有無を診るために尿のセシウム測定から、被ばくの影響が身体に出ていないか診るための血液検査や甲状腺検診など、多岐に渡ります。

一人当たり一万八千円の費用がかかる「こどもドック」は健康保険の対象でないため、全額が皆様のご寄付により賄われています。

これらの対策のためにかかる費用が診療報酬で全額カバーされるかは現時点では分かっていません。新型コロナウイルスと同じく「見えない、おわらない」という特徴を持つ放射能測定への取り組みを通じて学んだことがあります。それは正しく怖がることの大切さと、「漠然と考えるから不安になる」ということです。

←記事の内容と正式な協力要請文が生協に届きました。

常任理事会メンバーと協議、理事会メンバーにも報告し、募金協力をしていくとなり、473【JOSOたすけあい基金】から支援していく事を決めました。

協力要請文では、8月に海水に含まれる放射能の検出限界値を下げるために必要なトリチウム電解濃縮装置も検討しており、7月31日までに675万円が必要。

放射能と新型コロナウイルスの脅威から子どもたちを守る取り組みとして、常総生協組合員の気持ちを集めて協力していきたいと思います。

同時に関東子ども健康調査支援基金も検診を中止したため、活動収入を得られる機会が減少して継続的な検診費用を確保できなくなっています。持続可能な検診ができるようご協力をお願いします。

募金協力は473【JOSOたすけあい基金】にて1口500円から受け付けています。

よろしくお願い申し上げます。

▽2014年11月4回のNewsLetter



○茨城県生協連の活動 県内学生に対する食糧支援について引き続き協力のお願い！

新型コロナウィルス禍の中、大学生はアルバイトの減少、親元の家計の急変などの経済的な困窮に陥り、食料困窮度の高い学生が一定数おります。

茨城県の「協同組合ネット」と「フードバンク茨城」が支援の呼びかけをしており、常総生協としても少しでも協力をていきたいと思います。

○前回ご協力いただいた募金額（対象6月1回～6月3回）

合計354,500円集まりました。ご協力ありがとうございます。この中で、10万円をフードバンク茨城、10万円をフードバンクちばにお渡ししました。

| 企画回 | 種別 | 協力者人数 | 口数 | 合計金額 |
|-----------|-------------|-------|-----|---------|
| 2020年6月1回 | JOSOたすけあい基金 | 138 | 525 | 262,500 |
| 2020年6月2回 | JOSOたすけあい基金 | 22 | 52 | 26,000 |
| 2020年6月3回 | JOSOたすけあい基金 | 44 | 132 | 66,000 |
| 計 | | 204 | 709 | 354,500 |

●引き続き、6,7月も茨城県の学生へ食料品の支援を行っていきます。

通常ですと組合員のみなさまに余っている食料供出を呼びかける「フードドライブ」を実施し、食料を大学生にお渡ししたいところですが、現在、配達物量が大幅に増えており、生協の配達職員がフードドライブ（食品回収）をする余力がまったくありません。実際の食料回収は困難ですが、生協本部（守谷）と生協戸頭店の2箇所では、「きずなボックス」が常設で設置されており、家庭で余っている食料品（常温で扱えるもの、賞味期限が2カ月以上残っていること）をご提供いただける場合は、こちらに持参して入れてくださると助かります。



（支援内容）

- 県内の生協や他団体と協力して、食料困窮度の高い茨城県内の大学生1,500人程度の方へ6月～7月までの間に2回にわけて食料をお渡しします。
- 常総生協としては、組合員のみなさんへの募金を呼びかけをします。
- 「フードバンクちば」経由で企業等からの食料や米を譲渡してもらい、今回の食料支援用に使用します。
- 「フードバンク茨城」での配達費用や梱包資材用としてみなさんからの募金カンパを募ります。

（支援方法）

| | |
|------------------|--|
| 募金（一口500円） | <ul style="list-style-type: none">OCR NO.473に募金口数を記載ください。1口 5 0 0 円です。集まった募金は、「フードバンク茨城」、「フードバンクちば」に渡します。 |
| 家庭で余っている食料での提供協力 | <ul style="list-style-type: none">「きずなボックス」に各自が持参し、入れてください。（生協本部、戸頭店の2箇所に設置）常温で取り扱いできるもの、賞味期限が2カ月以上ある食品のみ。今回、生協配達職員（トラックでの回収）へ渡さないでください。受け取りできません。 |

【5月に食料支援した学生さんから寄せられた感謝のメッセージ】

・こんにちは、この度、食の支援の申請をさせていただいた茨城大学の学生です。本日無事に食料品が届きました。一人暮らしで収入も減るなかで不安がありましたが、食品が届いて非常に安心しました。皆様のお心遣いに感謝申し上げます。皆様もお体にお気をつけてご尽力下さい。本当にありがとうございました。

第95回 脱原発と暮らし見直し委員会 報告

2020年6月8日(月) Web会議 13時半～15時半 組合員6人参加。

前回に続きWebを利用し、生協組合員活動室からも参加して開催しました。茨城原発県民投票の情報交換や今後の活動方法などを話し合いました。

◎各地で測定しているセシウムは、コシアブラなどの山菜から高い値で検出されています。ご注意を。

★次回は、2020年7/6(月)午後の予定です。ネット開催ですが生協からも参加できます。委員会はどなたでも自由に参加できます。関心のある方はお気軽に
お越しください。

Web開催に参加希望の場合は常総生協HPの「組合員専用お問い合わせ」フォームから事前にご連絡ください。※右のQRコードからもフォームに飛びます→



ご存知ですか？

4年に一度行われている「教科書検定」。今年は中学校の教科書が採択される年です。今週は、日本全国の自治体の主催で「令和3年度から使われる教科書」の一般市民向け展示会が開催されています。
(組合員 松戸市Kさんより寄稿)

○教科書検定とは

民間出版社が出す教科書が適切かどうか、国が審査する制度。一面的な見解を取り上げていないかなどの基準に基づき、不適切とした箇所に検定意見を付け、修正を求める。小中高ごとにおおむね4年に1度行う。明治時代から戦中にかけ、国が作った「国定教科書」が使われたが、国民の思想統制につながったとの反省から、学校教育法が制定された1947年に検定が始まった。(2017.3.25朝日新聞より)

時折ニュースで聞く「教科書検定」という言葉。どんなプロセスで誰が子ども達の教科書を決めているか、ご存知ですか。①国の検定の年→②採択の年→③実際使用される年という順番で、それを小中高それぞれ4年ごとに繰り返します。今年は、国の検定に合格した中学教科書を各自治体の教育委員会※1がどの出版社の教科書にするかを決める②採択の年です。

新学習指導要綱のもと作られた教科書は、全10科あり、平均ページ数は現行本比較で7.6%増となり、「ゆとり教育」と言われた2004年の検定以降で最多、約1.5倍のボリュームとのことです。「量」もさることながら、「質」も変えられてきていて、とても心配な状況です。一般市民には採択権限はありませんが、子ども達が使う大切な教科書なので、展示会（手に取って読むことができます）に行ってきました。報告をします。



今回は、2年前に導入された「特別の教科 道徳」を含め10教科23社115点(157冊)の教科書に、検定意見の総数が前回より121件増の4775件がつき、106点(145冊)が合格しています。そもそも「検定」は、戦前、国が作った「国定教科書」が、国民を戦争に向かわせた思想統制につながったとの反省からスタートしたはずですが、2014年以降「教科書用図書検定基準」改訂に伴い、"政府の統一的な見解又は最高裁判所の判例が存在する場合にはそれらに基づいた記述とすること"が求められるようになったため、学術と調査研究の成果よりもむしろ政府の意向を反映することになっていて、非常に問題だと感じています。

私は気になっていた「育鵬社」の公民教科書の、「憲法」「天皇」に関する記述を重点的に見たのですが、憲法9条については他国6カ国ほどの憲法条文を例に挙げて、「軍隊を持たずには国を守れないのだから、専守防衛に徹している自衛隊を憲法に明記すべき」と政府の見解を述べ、日本国憲法の重要性や内容そっちのけで、国民投票についてなど、憲法改正のために大きなスペースをとっていることに驚きました。また、「天皇」についての記述は、そこだけ尊敬語で書かれていて違和感を感じました。

「育鵬社」は歴史教科書では、戦争の加害についての記述が乏しいだけでなく、「太平洋戦争」を“東南アジアを欧米諸国から独立させるために行つた”と美化していたり、間違った歴史認識を子どもに持たせかねず、これは採用してほしくないと思いました。

今回の教科書では「アクティブラーニング(テーマをグループで議論する)」を取り入れることが重視されていて、教科書には項目ごとに「お題目」が提示されているのですが、「育鵬社」公民の「憲法」の章ではあからさまに改憲誘導していて恣意的に感じました。

今年からの新しい取り組みとして、各社「QRコード」を教科書に載せて資料に飛べるようになっています。これも驚きました。英語はそのQRコードで正しい発音が聞けたりして良い面があるのですが、必ず教科書会社のHPを経由するため、社会科などは恣意的な資料提示になっていないかなど、これも色々

な問題を含んでいると思いました。文科省主導の「GIGAスクール構想」※2にちなむもののですが、このIT化の波も注視する必要があると思います。

私が尊敬している大学の先生は、「教科書は限られた紙幅で学術と芸術の成果を子どもに伝えて、子どもが生きるのを励ますものであるべき」と仰っていました。本当にそうあってほしいと願います。

私は、ここ数年は母親有志で教科書採択に関する要望書を市に提出していますが、下の子は来年中学です。今年も「これは使って欲しくない」「こういう教科書で教えてほしい」ということを保護者の立場から、理由を添えて指導課、教育委員会に伝えていかねばと思っています。ぜひ関心を持って、展示会に足を運んで頂ければと思います。

※1 単独で1市の教育委員会が決める所もありますが、複数の市で、合同協議で決める所もあり、それぞれに違いますが、市民の意見や要望は各市の教育委員会や指導課などが受けています

※2 「GIGA」は「Global and Innovation Gateway for All」の略。「子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現に向けて」～令和時代のスタンダードとしての1人1台端末環境～を整備する計画のことです。2318億円の予算案を2019.12.13閣議決定しています。

○展示会情報

茨城県内では6月12日(金)から7月2日(木)まで11か所の教科書センター等で展示。

千葉県内では6月12日(金)から7月30日(木)まで任意の14日間、教科書センター等26か所（移動センター2か所含む）で展示。※詳細は文科省、県のHPを参照ください。（「教科書 展示」で検索）

生産者と組合員と職員の広場

●新型コロナウィルス感染拡大している中での生協への組合員さんからのメッセージが多数届いています。一部ですが、ご紹介させて頂きます。

供給担当の渡邊さんへコロナ心配ですね。配達をしていただき助かっています。感謝しております。お気をつけてください。お目にかかる日を待ちつつ、コロナに負けずに頑張ってください。よろしくお願いします。

(取手市 Tさん)

コロナ対策としての商品受け渡しについて承知しました。こんな中でも毎回きちんと届くことに有難さを感じています。今後ともよろしく！！お気をつけて頑張って！！

(我孫子市 Mさん)

2011年震災の時も、今回コロナウィルス騒ぎの中でも、きちんと届く、生協の個配に助けられて日々にならずにすんでいます。感謝！

(つくば市 Kさん)

コロナウィルスなど不安が広がる中、安心でおいしい食品を届けて頂き、生産者さん、職員の皆様に心から感謝致します。

(龍ヶ崎市 Oさん)

新型コロナウィルスへの影響は本当にいろんなところに出ていますね、鎌倉ハムと増田商店の件初めて知りました。きっと他にも苦しんでいる会社があるのではないかと思います。生協の組合員として私たちに出来ることがあれば、協力していきたいと思います。そして、一日も早く収束する事を心から願っています。

(牛久市 Hさん)

・鈴木さんと寺田さんのトマト供給がそろいほとしました。立て直しが大変だったと思われます。お疲れが出来ませんように。。。今年も美味しいトマトです。

・コロナによる世の中の情勢が変わる中、生協会員であることの意味、ありがたさを感じます。皆様本当にありがとうございます。

(牛久市 Kさん)

コロナ禍が長期化する中、生協の宅配ほどありがたいものはない。子どもがいる家庭はさぞ大変な毎日だと思います。生協に加入される方もふえていると察しますが職員のみなさまありがとうございます。気を付けてください。先週の「手作りマスク」私はストッキングを切ってゴム紐にしています。耳がいたくならないです。

(土浦市 Sさん)

この大変な時に働いて下さり本当にありがとうございます。配達時は、玄関前にて箱ごと置いていって頂いても良いでしょうか。宜しくお願ひ致します。お身体に気を付けて（病気も疲労も）頑張ってください。

(守谷市 Yさん)

生協の生産者さん、職員さん、みなさん、くれぐれも気を付けてコロナがんばろう！

(取手市 Sさん)